

# 「いざなぎ景気 を超えた」 景気回復



どうやら、日本の景気は「いざなぎ景気を超えた」可能性が高いらしい。

「いざなぎ景気」は、あの『日本経済』が絶好調だったころの景気の事。

「アベノミクス」が絶好調の「いざなぎ景気」を抜き去ったのならば、『日本経済』は「超」の付く絶好調のはず。

しかし、それほどの好景気が実感されていない。

不思議だなあ、お宅の景気は良くなっていますか？

景気が回復して物が売れるようになると消費者物価は上がるはず。

ワイズ編集部のお向かいにあるスーパーでは相変わらず値下げ競争をしている。

景気が良ければ、スーパーだって値上げをするはずですね。

他のスーパーとの「競争」なら、お値段勝負ではなく、品物を徐々に高品質なものへ変え、「良いものが安く買えるスーパー」というスタンスをアピールするほうがお店のプラスではないだろうか。

「問題」は「景気が良くなった」という実感がないことだ。

## 月例経済報告

(平成29年9月)

—景気は、緩やかな回復基調が続いている。—

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

平成29年9月25日

内 閣 府

## 好景気の風は吹いているの？

「設備投資」が盛んになるのは景気が良くなった証拠といわれている。

企業の「設備投資」は盛んなのだろうか？

景気が良くなるとメーカーの「製品」がよく売れる。

メーカーは製品が売れると、売りたい製品の生産を増やそうとする。

生産が間に合わないので新しい工場を建てる。

新しい工場の建設には建設資材の鉄やセメント、効率の良い機械設備が売れる。

「企業が黒字」で景気が良いと銀行も融

資をしやすいくなる。

今の時代は低金利なのでお金は借りやすく、どんどん貸付は増えていく。

景気が良くなると働く人が増え、失業者が少なくなる。

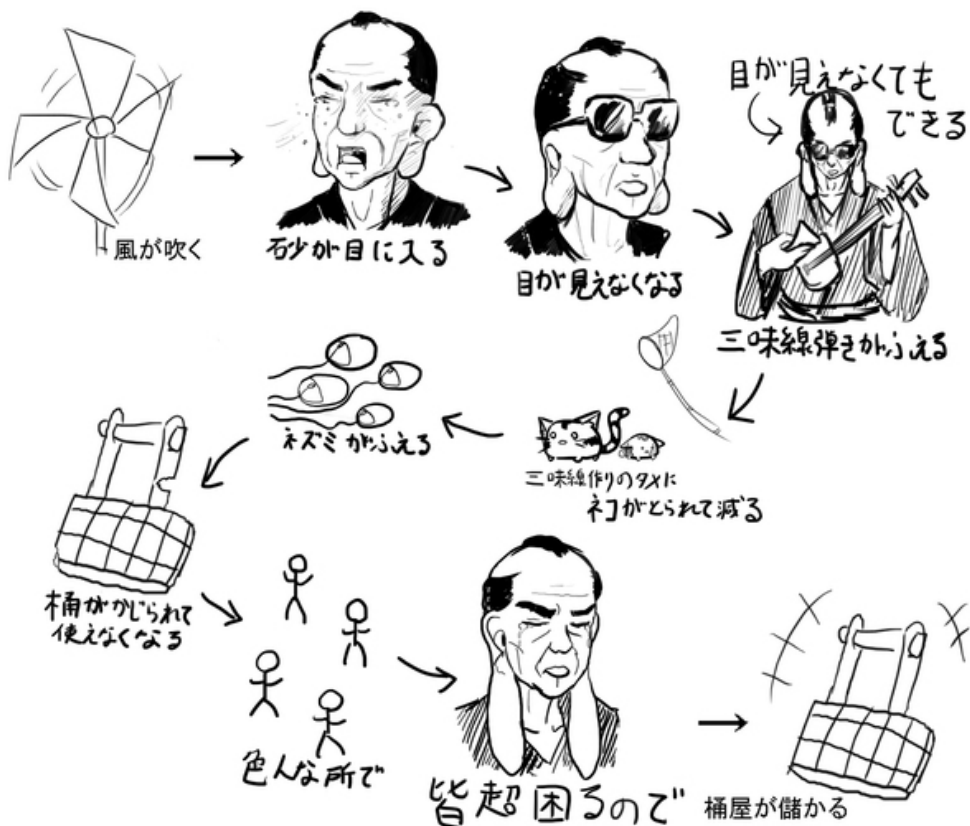
どの会社も景気が良いので「求人」が増えてくる。

新卒の学生が売り手市場になり、人件費が増える。

給料が高くなると、モノを買うのを我慢していた人たちが、安心して欲しいものを買うようになる。

消費者が物を買うからメーカーの製品は売れる。

「風が吹けば桶屋が儲かる」。



好景気の風も一旦吹き出すと順風満帆。景気は一度上を向くと、そのまま上昇を続ける。

元財務官僚・経済学者の高橋洋一氏は「安倍晋三首相に脱デフレ」について訊かれ、「日銀の金融緩和」「財政出動」「新規産業創出」などを進言したそうだ。

その時、高橋洋一氏は「この政策は与党向きというより野党向きかもしれない」と付け加えた。

政策の副作用として雇用率が上がり労働者不足が出るからだ、という。

安倍晋三首相は「野党にそのアイデアを取られないうちに自民党が先に実行してしましましょう」といった、という。

これが「アベノミクス」誕生の瞬間だが、方法を聞いただけでさっとイメージできそれを実行に移す決断力、は、並みの政治家のものではない。

結論を急ごう!!

## 日本の景気は回復しているのか？

「アベノミクス」のおかげで日本の景気は『間違いなく回復している』。

ただ残念なことは絶対に手を出してはいけない「消費税」。しかも、その消費税の増税をしてしまったことだ。これで一気に上向いていた景気はガタンと低下す

る。なぜ消費税はダメなのか、ワイズでは過去数年間にわたり、何度も書いてきた。目先を変えても消費税は絶対にダメ。ダメなものは絶対にダメなのである。

これは「国民・庶民の生活感がわからない政治家が陥りやすい罠」なのだが、簡単に見分ける方法がある。

◆消費税導入を言いだしたのはだれか？

消費税→別名は「売上税」。

◆その目的は何か？

◆理論的に整合性はあるのか？

◆国民・庶民に犠牲を強くないか？

◆過去に消費税にこだわった内閣はどうなったか。(ここ注目!!)

◆アメリカに消費税はあるか？

◆消費税で税収はプラスになったか？

今回の総選挙、安倍晋三自民党総裁は情けなくも野党の代表の政策を盗むという、浅はかな行為をする。



安倍晋三首相本人は先の消費税増税（5%→8%）で景気が失速したことを身に染みて知っている。それゆえ消費税増税10%の延期を決めた。消費税率10%への引き上げを2017年4月からすることになっていた。その時期を2019年10月に再延期しているほどだ。予想通りの大英断である。ただ残念なのは「消費税をやめる」と断言する勇気を持てなかったことだ。

しかし、2019年10月に予定されている10%への増税までたっぷり2年間ある。

だから、2年後になって「再々延期」するか、消費税を「永久凍結する」かを決めればよい。

ところが安倍晋三首相は「解散総選挙」の決定発表の時に「消費税の使い道を説明した方がよろしいですよ」と耳打ちした馬鹿なゲスがいる。

しかも、前原誠司民進党代表の「教育に消費税を使う」というアイデアをソックリ頂いた。

まだ2年間も時間的余裕があるのに。

ああ、♪それなのに♪それなのに、なぜにそんなに急ぐのよ。

あなた馬鹿よね、おバカさんよね。

オイ!!安倍クン、いくら何でも消費税率「10%ありき」で「解散総選挙」のスピーチはまずくないかい?!

先行き未来が暗くなるのに自民党に票



を喜んで入れてくれる奇特な国民だけでは無かるうに、籠池夫妻の「幼稚園」の児童でも「安倍首相がんばれー」とは言わないことぐらいわからんかなー。

うまく安倍晋三首相を毘に嵌めたやつがいる。そいつは誰だ!! (デス バイハンギング)

日本で分からないことはトランプ大統領に国際電話で聞いてみるがよい。

『シンゾー・アベ』それは間違いだ。「消費税は非関税障壁に見えるよ」と言ってくれるはずだ・・・から、サ。

---

## 抜かりはない 「厚化粧の大年増」

---

それに比べ、さすがは「百合子ママ」。そつなく消費税凍結を前面に出している。

安倍晋三首相の「オウンゴール」では、

リカバリーのしようがない。

内閣のスタッフだった経済学者の高橋洋一氏に消費税について「ご意見」を聞いてみるとよい。

それにしても安倍クンは誰の進言でこんな馬鹿をやったのか。ぜひともお聞かせいただきたいものだ。

安倍晋三首相の命取りになる前に、そやつをさらしものにして責任を全部かぶせてしまおう、イエイ!

トカゲだってしっぽを残して逃げ出すのだから、政治家なら簡単なことでしょう、イエイ!!

もと一い、

ところで今回の好景気は2002年から2008年の73ヵ月間続いた戦後最長の

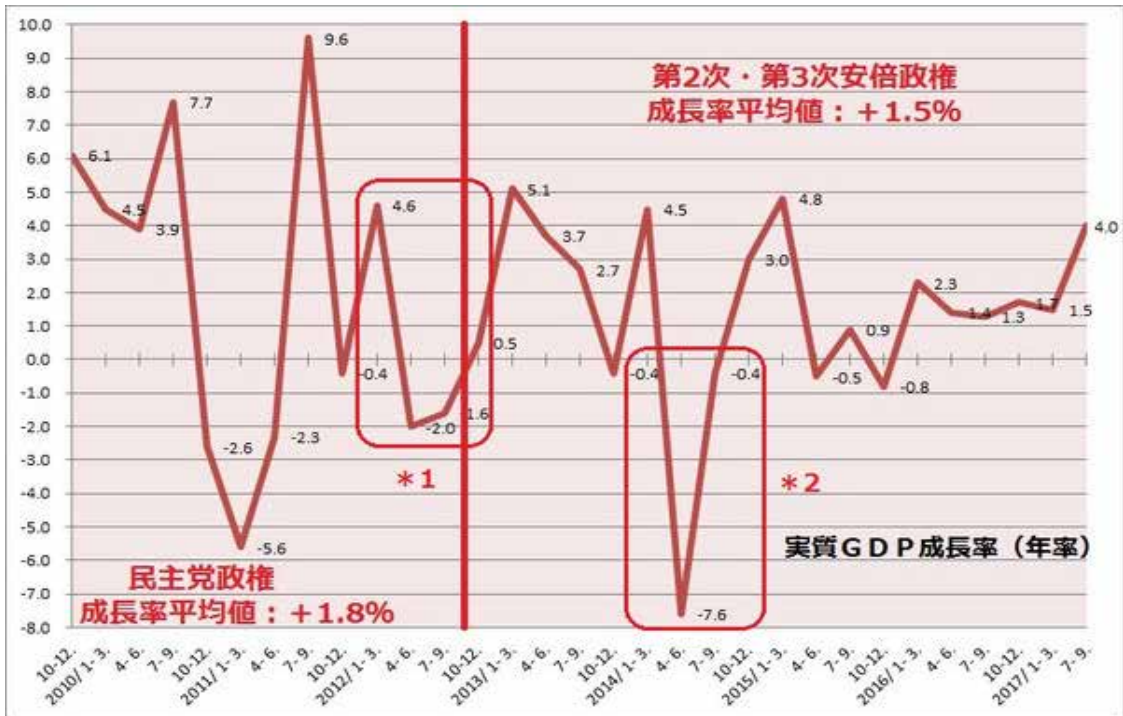
好景気『いざなぎ景気』を超えた。

しかし、「景気回復が実感できない」という話をしばしば耳にする。

それもそのはず、**年平均10%の成長を続けていた「いざなぎ景気」と**、年平均1%程度の成長の「今回の景気」とでは、全く違っている。エントロピーで10倍も違えば「景気回復」を実感できなくても不思議はない。さらに設備投資は「効率の良い機械設備」が、『いざなぎ景気』の時代と違ってコンピュータのようなすぐに買い替えたほうがアドバンテージのあるものになってきた。

**成長率の低い好景気が続いても景気が良くなっているとは認識しにくい。**反面、**緩やかな景気回復だから長続きしている。**

「国内の景気拡大のペースが緩やかだか



ら長続きしている」。

「アベノミクス」のおかげで失業者は減り、株高でお金持ちは儲かった。(株式も売った、買った、とやらずに日本経済を買うつもりで資産株をじっくり持つこと)。しかし、サラリーマンの給料は上昇していない。その原因は企業の設備投資にありそうだ。

企業にはすでに立派な設備がある。「立派な設備」を「最新の設備」に置き換えても生産性があまり上がらない。インパクトが足りないのだ。他方「宅配サービス」や「医療」「介護」といった**労働集約的な産業が伸びている**。

では、労働力不足なのに、なぜ賃金が上昇しないのであろうか。

企業形態が変わったことが最大の原因である。

日本企業が優れた日本型の会社からアメリカ型の金儲けを優先した「株主の所有物」に変質したことではないか？

日本では会社の「社」に深い意味がある。読んで字のごとし、「やしろ」と読む。

何かの縁のある人々が集まって志を一つにして社(やしろ)を守って生きていく。会社員とはまさしく社(やしろ)を守り発展させていく責任を負うメンバーだ。強固な帰属意識が自然に芽生えていく。社(やしろ)のトップは社長である。だから、サラリーマンどうし名刺交換をしたら、「自社の立場」を表現するとき自然と「ウ

チノタチバ」といい、国会議員の事務所では秘書たちが代議士のことを当然のように「**オヤジ**は今、財務委員会に出ていますので、6時頃まで帰ってきません」という会話になる。

社(やしろ)の長にとって会社員は家族であり兄弟である。子供のことを真剣に考えない親はいない。会社は株主のものではない。やしろに関わるすべての社員のものである。

ところが、最近はどうだろう。

全部がくだらない、「株主の奴隷」のような企業とは言わないが、筋の通った日本型の会社が少なくなった。

株主総会シーズンに新聞を読んでいると、以前なら企業が儲かっていても株主への配当は増やさず、従業員に手厚く還元した。しかし最近では、企業が儲かっていても従業員の賃上げは二の次、三の次で、「株主さま」に配当する。

大手相場企業が賃上げをしなければ、中小企業も賃上げが憚られる。下請けならなおさらだ。

◆給料が上がらないからインフレにならない。

◆日銀が異次元の金融緩和で「マイナス金利」をものともせず果敢に行っているから景気拡大が続いている。

◆賃金が上がらないので好景気を実感できない。

言ってみれば「**潜伏型好景気**」だろうか？